

1 研究主題 学習効果を高めるICT活用の工夫
～実物投影機等を効果的に活用するために～

2 主題設定の理由

学習指導要領の総則では、「情報教育」及び「教科指導におけるICTの活用」の充実が述べられている。また、ICTを活用することにより、学習に対する児童の意欲が高まり、知識・理解の定着につながることは、様々な研究でその効果が検証されている。

本研究では、実物投影機を中心としたICTの活用によって授業を効果的・効率的に行うことで、より確かな学力を身に付けさせることができるのではないかと考えた。また、本年度は第1学年担任ということもあり、教師説明型の授業スタイルが多くなっているが、児童も少しずつ実物投影機等の利用の仕方にも慣れてきている。そこで、教師側の授業のねらいを明確にし、どの場面でどのようにICTを活用するのかを考え、児童同士の教え合い活動が増えることで、さらなる学習効果が高まるものと考え、本主題を設定した。

3 研究目標

授業において実物投影機等の活用を工夫することにより、学習効果を高め、基礎基本の確かな定着を図れることを実践を通して明らかにする。

4 研究仮説

- (1) 実物投影機で映したフラッシュ型教材や学習ノートを、プロジェクターで提示することによって、児童の興味や関心を喚起するとともに基礎的・基本的な内容の定着が図れるであろう。
- (2) 児童が実物投影機等のICT機器の利用の仕方に慣れることによって、児童相互の教え合いや学び合いが増え、学習効果が高まるであろう。

5 研究の内容・方法

- (1) 授業実践の記録や研究協議、事前・事後調査等を通して、実物投影機の活用や、児童相互の教え合い活動が、児童の学習理解を高めることに有効であったかを検証する。
- (2) 単元の事前事後を通した児童の意識調査を比較分析して有効であったかを検証する。